

Harmony

vol.201

2024
秋号

高齢者救急において、
当院が果たす役割

撮影協力：岡山市南消防署妹尾出張所



特集 高齢者救急において、当院が果たす役割

全国ですすむ救急患者の高齢化

全国の高齢者人口は今や3,600万人を超え、高齢化率29.1%と超高齢社会を迎えています。それに伴い高齢者の救急搬送件数も増加し続け、救急搬送時間も延伸の一途を辿っています。

従来、救急搬送疾患の主な原因は脳卒中でしたが、高齢化の進展により肺炎の件数が最も多くなりました。高齢者医療の割合が増し、救急医療の疾病構造が変化しています。また高齢者は複数の慢性疾患が併存する「多病」の状態が多く、75歳以上の約8割が2疾患以上、約6割が3疾患以上の慢性疾患を併存していると言われています。*

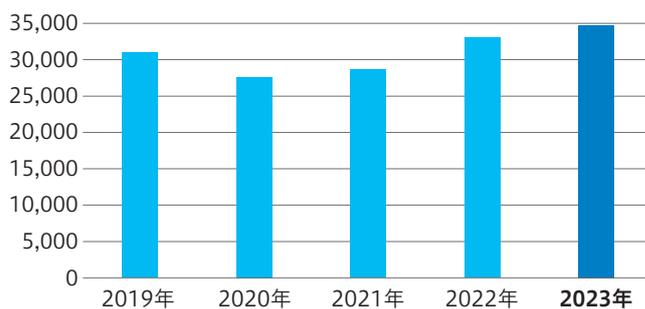
※地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
2019年2月1日発表

地域の救急の現状

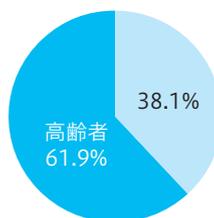
救急医療は「初期救急」、「二次救急」、「三次救急」といった役割分担で対応しており、その中で三次救急である岡山県の指定医療機関はいずれも、24時間体制で重症および複数の診療科領域にわた

る重篤な救急患者に対応しています。ただ、実態は岡山市内で救急搬送される患者さんのうち5割が軽症者で、中等症も含めると9割弱にのびります。そのために重症、重篤な患者さんを受け入れるべき三次救急が近年ひっ迫している現状があります。

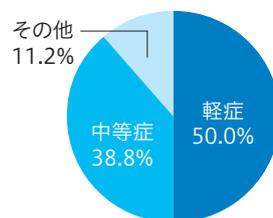
岡山市消防局管内の救急搬送人員数



高齢者の割合



軽症・中等症の割合



岡山市消防局発行：消防年報2024より当院作成

当院での救急受け入れ

当院は微力ながら二次救急を担い、地域と連携して三次救急を必要としない患者さんの救急搬送を受け入れています。

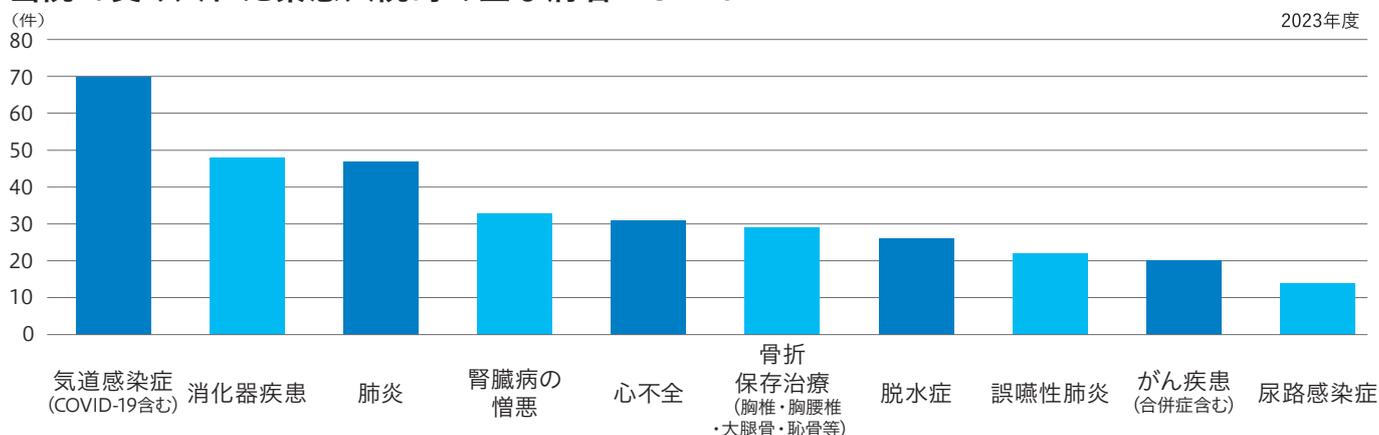
当院に救急搬送される患者さんの8割以上が75歳以上のいわゆる後期高齢者であり、その多くが誤嚥性肺炎、尿路感染症、転倒骨折などによる搬送です。そういった患者さんはその疾患の治療と同時に併存する他の疾患があったり、生活動作の低下が懸念されるため、全人的な医療を包括的に提供する必要があります。

当院の内科医はそれぞれ得意とする専門分野を持つと同時に、総合内科的な視点で患者さんに応じた小回りのきく診療を心掛けています。専門性の垣根を越えた総合的診療を可能とする「チーム医療」が当院の特徴です。

また、臨床検査室による短時間での血液検査結果の報告、画像診断(超音波検査・CT検査)、内視鏡検査などの体制も当院の「チーム医療」を支えています。



当院で受け入れた緊急入院時の主な病名 TOP10



救急車の適正利用

～いざという時にあわてないために～

- 体調がすぐれないときはできるだけ早めに医療機関を受診する。
- 持病がある場合、具合が悪くなった時どうすればよいか、かかりつけ医にあらかじめ相談しておく。
- 必要な時に迷わず救急車を呼ぶ。

いざという時に
行政のお助けサービス

- 全国版救急受診アプリ Q助をご利用ください。
- 岡山市内救急病院案内
電話 086-231-0119
※休日・夜間の救急病院の案内をします。



全国版救急受診ガイド



高齢者救急には 地域との連携が大切

救急時の安心が在宅療養を支える

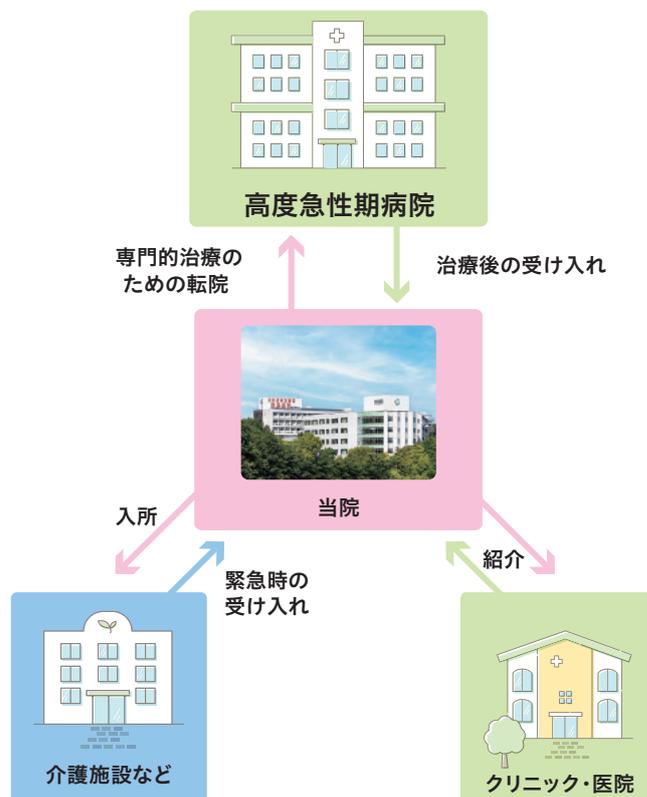
体調を崩された患者さんはまずかかりつけ医や身近な一次救急で治療を受けることになります。この初期対応と高度医療が必要な場合の三次救急との間にある役割が、当院のような二次救急病院です。当院は急性期だけでなく回復期や慢性期の入院機能を併せ持つ身近な地域の多機能病院であり、かかりつけ医の先生と連携し救急対応をおこない、回復後に在宅へ患者さんをお帰ししています。

地域にお住いの皆さん、特に高齢者の方々が不安なく暮らせるように、当院は今後もかかりつけ医の先生方との連携を深めてまいります。

介護施設との連携を進める

特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設では入所者の医療ニーズが高まっており、本年の介護報酬改定では2027年までに医療機関との連携体制を構築することが介護施設に義務付けられました。例えば、入所者が急変した場合などに協力医療機関の医師や看護師が速やかに相談に対応し、必要に応じて診療を行い、必要時には救急搬送や入院を受け入れる体制を確保するものです。また、そのために介護施設と協力医療機関の間で定期的に普段から必要な情報を共有しておくことが求められています。

当院はこれまでも約20ヶ所の介護施設と協力医療機関の協定を結んでいましたが、このたびの制度改定を受けて改めて協定の内容を充実させたり、また新たに協定を結んだ施設も増えています。地域の介護施設に対しても当院の役割を今後ますます果たしていきたいと思っております。



協力先の介護施設の一例



介護老人保健施設
南岡山ナースング
ホーム



私たち重井医学研究所附属病院
入退院支援センターが連携の橋渡しをします。

TEL 086-282-5360(直通)

高度急性期病院からの連携搬送

高度急性期病院に救急車で搬送される患者さんの多くが軽症や中等症であり、そのほとんどは高度な処置や緊急手術が必要ではなく地域の一般病院により治療が可能です。そのため国の政策として、こういった場合に当日または翌日など早期に高度急性期病院スタッフにより、連携する地域の一般病院に転院(救急患者連携搬送、いわゆる下り搬送)する取り組みが進められています。当院では岡山赤十字病院・倉敷中央病院・岡山大学病院・岡山市民病院と連携協定を結び、このような転院を受け入れています。

地域医療ではそれぞれの医療機関が機能に応じた役割を果たすことが求められています。三次救急病院や高度急性期病院が治療すべき疾患に集中する、その一助となるよう今後も当院は積極的に救急患者連携搬送を受け入れてまいります。



写真提供：岡山市立市民病院

地域へ帰る退院支援

入院が高齢者の要介護度を悪化させる要因となることが報告されています。救急搬送された高齢の患者さんが住み慣れた地域に無事に帰っていただけるよう、当院では入院早期よりリハビリテーションを積極的に行い、患者さんの健康状態やニーズを正確に把握し、退院後の生活を支えるための適切なサポートを提供することを心がけています。

また、退院に合わせて自宅環境を整備する際に専門的な見地からの意見が必要な患者さんやご家族には、担当のリハビリテーションスタッフ・看護師・医療ソーシャルワーカーが多職種で退院前にご自宅を訪問します。手すりや福祉用具の導入など自宅環境に必要なことや、また自宅での患者さんに合った介助方法や過ごし方も提案いたします。



Message



重井医学研究所附属病院 看護部長 兼 地域連携部長

森安香緒里

高齢者をめぐる社会的背景は複雑化しています。身寄りがない独居の方が増え、また老老介護のお話も耳にします。超高齢化が及ぼす影響は私たちのごく身近なものとなっています。

地域の診療所、高度急性期病院や介護施設の方々と日頃から情報共有を密に連携し、必要な時に必要な医療を提供する体制を整えてまいります。

地域住民の皆さまと災害対応訓練をおこないました

9月1日(日) 防災の日に大地震を想定した災害対応訓練をおこない、朝8時53分にゴゴゴゴ・・・という地震を思わせる効果音が院内放送で響き渡り、訓練がスタートしました。職員約60名が1日ばかりで参加した病院全体での大規模訓練は3年半ぶりで、職員は緊張の面持ちで臨んでいました。

今回は福田学区連合町内会にご協力いただき、初めて地域住民の皆さまに模擬患者役として当院の訓練に参加していただきました。傷を模したタトゥーシールを貼り患者役になりきっての名演技は訓練とは思えないリアルさで、おかげで職員も一層力が入りました。また院外の第三者の目線でご意見をいただける貴重な機会となりました。町内会の皆さまには17名もの多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。



この訓練は、外来でのトリアージや、エレベーターが動かず停電している状況での緊急入院や転院を想定した移送など、これまで以上に災害時の患者さん対応を主眼におこなうことができました。今後も定期的に訓練を実施し、災害時の医療提供を最大限確保できるよう努力していきます。

公開講座2024 すこやかに生きるために その40

第3回「結核と非結核性抗酸菌症 最近の話題」

予告 第4回「内視鏡検査ってどんなもの?!」



9月4日(水)、本年第3回目の公開講座を開催しました。呼吸器専門医である内科部長、丸川将臣により、豊富な臨床経験に基づき結核について多岐にわたりお話ししました。また昨今、増加傾向で治療も難しい非結核性抗酸菌症にも触れ、密度の濃い講演でした。講演後、健康運動指導士により風船を使った「リハビリ体操」もおこないました。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



第4回 10.30 [Wed]

入場
無料

受付開始 13:30~
14:00-15:15
西ふれあいセンター(南区妹尾)

講師

重井医学研究所附属病院
内科部長

山本 直樹

お問合せ・申込み先

公開講座担当

お電話または右記の二次元コードより、お申し込みください。

TEL 086-282-5311(代表)

木・日・祝を除く9:00~17:00





しげい腎クリニック早島が10月7日、いよいよオープン



しげい腎クリニック早島
〒701-0303 岡山県都窪郡早島町前潟277

TEL 086-436-6888(代表)



院長 松原 龍也

創和会にとってはじめてとなる透析専門クリニックが開院しました。最新の透析装置を備えたホテルライクなベッド周り、透析中の身体にやさしい空調、災害対策も施した安心安全な建物構造と、「快適な透析」にこだわり抜いたクリニックです。生活習慣や栄養面での相乗効果が高いとされる早朝透析にも対応し、患者さんの生活スタイルに合わせて透析時間を設定いただけます。「エンジョイ 透析ライフ」をテーマに、患者さんが透析をしながらでも自分の時間が楽しめるよう、スタッフ一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



オープニングスタッフ

予告 4年ぶりに糖尿病教室を開催します

糖尿病って どんな病気？

11.16(土) [会場] 当院 2階 多目的ルーム
[時間] 14:00~15:00

医師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士がそれぞれの立場から糖尿病についてのお話をさせていただきます。

- ・医師の話
「糖尿病って？」
- ・看護師の話
「合併症とフットチェック」
- ・管理栄養士の話
「血糖値を上げにくい食事の工夫」
- ・健康運動指導士の体操
「自宅でできる体操」
※座ったまま行う内容です。
※動きやすい服装でお越しください。

お問合せ・申込み先 糖尿病教室担当

TEL 086-282-5311(代表) お電話または右記の二次元コードより

木・日・祝を除く10:00~17:00

お申込みください。



外来診察予定表

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病 腎臓・肝臓	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)	休 診	十川 圭司 (総・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)
		腎臓	福島 正樹 (腎)(紹介・初診のみ)	瀧 正史 (総・腎)	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	山本 直樹 (総・消) 岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	—		—	
	呼吸器	丸川 将臣 (総・呼)	—	丸川 将臣 (総・呼)	—		—	
	★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 呼:呼吸器 ★福島正樹への新規ご紹介につきましては予約が必要です							
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休 診	交代医師	交代医師	
	専門外来 ☎要予約	—	(糖尿病・腎臓病) 真鍋/荒木 (呼吸器内科・一般) 丸川 将臣	—		—	—	
健診・検診		☎要予約	西山 仁樹	西山 仁樹	西山 仁樹	休 診	藤本さおり	西山 仁樹
内視鏡検査	午前 (上部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	藤本さおり	休 診	西山 仁樹	岡山大学医師	
	午後 (下部消化管) ☎要予約	岡 優子	山本 直樹	山本 直樹		藤本さおり	—	
小児科	午前	虫明 亨祐 河野 美奈	虫明 亨祐 今村 昌司	河野 美奈 今村 昌司	休 診	虫明 亨祐 河野 美奈	瀧 正史 虫明 亨祐	
	午後	交代医師	交代医師	交代医師		交代医師	交代医師	
小児療育	午前 ☎要予約	今村 / 河野	今村 / 河野 / 川田	今村 / 川田	休 診	今村 / 河野	今村 / 川田	
	午後 ☎要予約	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 河野 / 川田		今村 昌司	今村 / 川田	
★初診の方は火・水の午前中のみです								
外科	午前	平松 聡	平松 聡	平松 聡	休 診	平松 聡	平松 聡	
ダイヤライシス アクセス 専門外来	午前/午後 ☎要予約	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	—	
★初診の方は月・水・金のみです ★時間外でも可能な限り対応いたしますので電話でお問い合わせください								
泌尿器科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	岡山大学医師 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼科	午後	交代医師 第4日曜日13:30~16:00	—	—	休 診	—	—	
脳神経内科	午後 ☎要予約	—	—	—	休 診	—	森 仁	

受付時間

午前 8:30~12:00

午後 13:30~16:30

再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています

休診日 木曜・日曜・祝日

急病の場合は、あらかじめお問い合わせください

交通のご案内

- 「重井附属病院」行き終点下車
- 天満屋バスセンターから ▶ 約40分
 - 岡山駅東口バスターミナルから ▶ 約30分
- タクシー
- JR庭瀬駅から ▶ 約10分
 - JR妹尾駅から ▶ 約10分

駐車場 140台 当院ご利用の方は、無料



社会医療法人 創和会
重井医学研究所附属病院
〒701-0202 岡山県岡山市南区山田 2117

代表
TEL 086-282-5311
FAX 086-282-5345

入退院支援センター(直通)
TEL 086-282-5360
FAX 086-282-4447

